

単
元
名

自分と人物を比べて読みながら、「お話のとびら」を作り、読んで
お話を友だちと伝え合おう

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 2 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

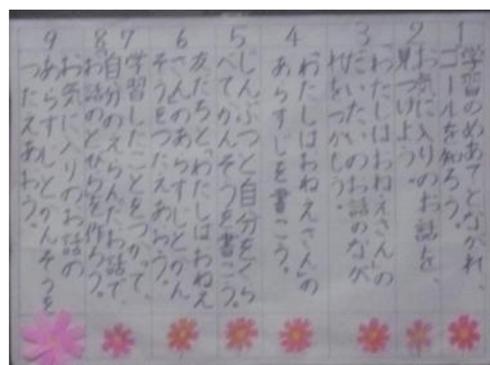
- ・人物の行動や言動と自分の経験を結び付けて捉える力。
- ・文章の中の大事な文や言葉を書き抜いて、あらすじをまとめる力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・公立図書館との連携（並行読書のための図書の整備）及び学校司書との連携（選書の助言）
- ・司書教諭によるブックトーク

○ 学習の展開（全9時間）

第1次	・学習のめあてと流れ、ゴールを知る。 ・自分のお気に入りの話を見つける。
第2次	・「わたしはおねえさん」の範読を聞いて、話の大筋を読み取る。「お話のとびら」の題名・作者・人物などを、一年生で学習したことを思い出しながら書く。 ・あらすじを書く。 ・登場人物と自分を比べて読む。 ・友だちと「わたしはおねえさん」のあらすじと感想を伝え合う。 ・自分の選んだ本で「お話のとびら」を作る。 ・自分が選んだ本のあらすじや登場人物と自分とを比べてどう思ったのかを書く。
第3次	・お気に入りのお話のあらすじと感想を伝え合う。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・お気に入りの本を選んで「お話のとびら」を書くという言語活動を入れることで、児童が最後まで主体的に学習に取り組むことができていた。・選んだ本が違う児童で班を組んで、伝え合いの時間を設けたことで、友だちの読んだ本にも興味を持つ児童が多かった。・並行読書を行うことで児童の読書量が増えた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・本の冊数がたりないものがあった。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・自分とお話の人物を比べることができました。・次は友だちの読んでいた「なきむしなっちゃん」を読みたいです。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<p>・児童が自分と登場人物を比べやすいであろう図書の選書を中学校区の学校司書に依頼した。それにより、すみれちゃんシリーズ、がまくんシリーズ以外にも児童が気になる本を選ぶ幅が広がった。また教室の前に「ミニ図書館」をつくり、並行読書用に選書した本を自由に見ることができるようにした。それにより、朝学習の時間や雨の日の休み時間など様々な時間で児童が並行読書を行うことができた。</p>
--